

北海道の伏流水と 日本酒(地酒) そして今 北海道ワイン



札幌&北海道コンシェルジュセンター

Jエコツアー（株）／北海道ガイドテキスト

＜北海道の水と日本酒の総論＞

北海道は、山、森、湖が多く、山や森に吸収された水が地下にたまり、長い時間が経過その後伏流水となり地上から噴出されて来ています。それらの伏流水を「名水」として北海道内各地で飲めるようにしてある所が各地にあり、その中でも代表的な観光地となっている名水処が「京極ふき出し公園」であります。この水は名峰羊蹄山の伏流水で、この水を汲んでコーヒーを入れている人もたくさんおります。同じ伏流水で「二世古酒造」は日本酒造りをしております。北海道は名水が多く、その関係で日本酒（地酒）もコンクールで賞を獲得している。名柄も多くあります。

また、近年はお米も多変おいしくなり日本酒適合米として、「彗星」「吟風」2大ブランドが確立されています。山田錦にも引けを取らない日本酒適合米を使い、水・米・技術と3拍子揃った状態になってきております。

《北海道の名水》

ニセコさかもと公園の甘露水

道道 66 号沿い、昆布温泉郷のニセコグランドホテル向かいにある私設公園内の湧水施設。

昭和天皇皇后両陛下が巡幸、その際に召し上がった冷たい湧水を、陛下は大変喜ばれたのである。そして「甘露である」とのお言葉があったことから、この水を「甘露水」と呼ぶようになった。

- 所在地：虻田ニセコ町ニセコ 413-55
- 水の硬度：25.7mg/l
- 利用期間：通年
- 利用料金：無料

倶知安駅前 日本一の水

JR 倶知安駅前、その駅に向かって右手に駅前公園がある。公園の入口に水飲み場があり、その脇の案内看板には次のように記されている。

この水は羊蹄山（えぞ富士）の麓から湧出するおいしい水です。四季を通して変わらない水温でまるやかな味わいは『日本一の水』といわれています。

- 所在地：虻田倶知安町北 3 西 4-3-4
- 水の硬度：24mg/l
- 利用期間：5 月初旬～10 月下旬
- 利用料金：無料

亀甲蔵の仕込み水

明治 32 年創業の造り酒屋がある。名は田中酒造。

「亀甲蔵」という見学製造場を持つ。市の歴史的建造物に指定の石倉を生かした亀甲蔵の入口に、その仕込み水の原水を味わうことのできる水飲み場がある。

日本酒の約 80%は水です。酒造りに水はとても重要な原料で、特に造り酒屋にだけ許されている生酒には、天狗山の伏流水である私のところの地下水は欠かせません。

- 所在地：小樽市信香町 2-2
- 水の硬度：75mg/l
- 利用期間：4 月上旬～11 月中旬
- 利用料金：無料